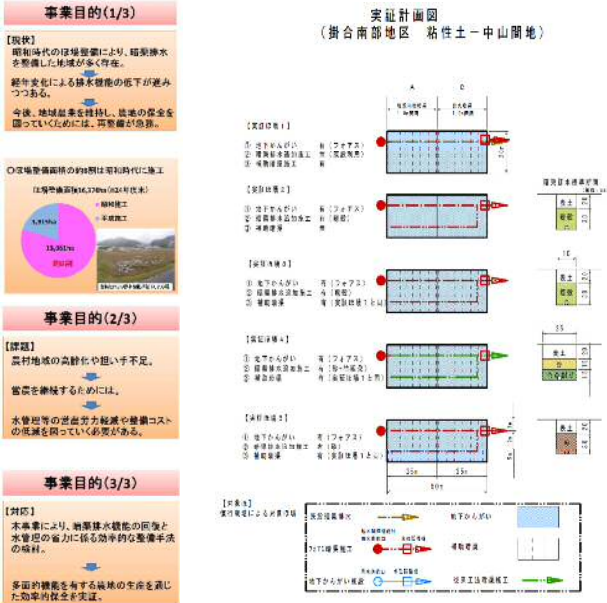


【水と土基金】

水田の汎用化に向けた既設暗渠排水の活用方法実証実験【松江市鹿島町、雲南市掛合町】

水田をフル活用して、麦・大豆等の戦略作物や地域振興作物を栽培していくなかで、畑作物の生産性向上が求められており、水田では、より一層の排水性改善や水管理の効率化を行っていく必要がある。

一方、島根県内のほ場整備済み水田の多くは、昭和時代に整備を終えており、整備後相当の年数が経過しているため、経年変化による暗渠排水機能の低下が懸念されていることから、暗渠排水機能が低下した水田において、水管理機能の追加と排水機能の回復に向けた整備手法を検証することとした。



農村環境調査【江津市市山地区】

保全活動で復田したやぶさめの棚田周辺にはイチョウウキゴケ、ケラ、ドジョウ等が多くみられるほか、やぶさめのため池はモリアオガエルの産卵場所になっている。また隣接する江尾地内の排水路にはオヤニラミ等の希少種が発見されるなど、生物資源が多く存在している地域であり、市山環境協議会ではこれらの生物資源の保全やその活用を通じて地域の活性化を図る方針である。

①生き物調査、②生き物マップ(保全マップ)等作成、③ワークショップ等を行い、今後の活動に活かしていく。また、この調査結果を踏まえ、生態系に配慮した水路等の保全事例となる本地区の整備手法を、類似の他の農地・水組織へも普及していく。



ワークショップ

生きもの調査



生きもの図鑑

生きものマップ

中山間地域における畦畔法面除草作業省力化の検証【安来市赤屋地区】

中山間地域における営農においては、除草作業に多大な労力を要し、近年の急速な過疎・高齢化の進行もあり、除草作業の負担が耕作放棄地の発生・増加の要因となっている。そこで、除草作業の負担を軽減するため法面に土壌硬化剤を添加する実証試験を行い、その抑草効果を検証し、防草対策として導入に結び付けたい。

固化材混合



法面転圧



完成状況



ビオトープづくり調査研究事業【津和野町堤田地区】

堤田地区は、水田、水路等にはカブトエビ、ホウネンエビなどの希少な水性生物が生息し、地域内で生産される減農薬米は「めだか、カブトエビ、豊年エビが宿る里『つつみだのゴシヒカリ』」として販売されるなど、環境に対する配慮や農村の景観づくりに高い関心を有する地域である。

このような地域特性を背景に、地域住民が主体となった計画から整備、管理の手法の検討を行う生態系保全型水路の実証試験として、平成22年度この地域の中央部を流れる水路にビオトープを整備した。



洗川ビオトープ



説明看板

【水と土基金】

ふるさと水と土指導員全国研修会

農地や農業用水など農村地域を保全・活用するための地域住民活動(保全活動、交流活動など)の指導、助言を行う人材(ふるさと水と土指導員)の育成、能力の向上等を目的として実施される「ふるさと水と土基金全国研修会」に棚田保全組織や農地・水保管理支払交付金の活動組織等の地域住民組織のリーダー的立場の方を派遣し、その後の地域住民活動に活かされています。

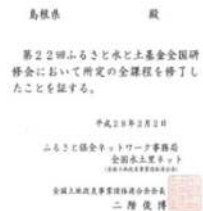
近年の参加状況

平成24年度 2名
平成25年度 1名
平成26年度 1名
平成27年度 8名
平成28年度 1名
平成29年度 2名
平成30年度 1名

ふる水指導員登録数

73名(H30.7現在)

修了証書



研修修了証



研修会の様子

しまねの農村景観フォトコンテスト

農業・農村は私たちが、快適で安全に生活を営むうえで大切な役割を果たしており、そこでは食糧供給のみならず、洪水や災害を防ぐ国土保全機能や、やすらぎ、潤いを与える場を提供しています。

この農業・農村を次の世代へ引き継いでいくためには、そこに住む人々の自覚や努力だけでなく、全県民的な理解が必要です。

そこで、島根県内の農村風景を写し観賞することで、広く県民の皆様へ、食料、農業、地域の現状を知っていただき、優れた農山村の景観を保全する県民意識の高揚を図ることを目的に「中山間ふるさと・水と土基金事業」の一環として平成9年度より「しまねの農村景観フォトコンテスト」を開催しています。

併せて、県内各地や県内外のイベントでフォトコンテストの入賞作品展を開催しPRを行っています。



審査会の様子



しまねふるさとフェアでの展示

年度	コンテスト 応募者数	応募 作品数	巡回作品展
平成26年度	263名	795点	13回
平成27年度	188名	570点	14回
平成28年度	244名	675点	11回
平成29年度	203名	518点	12回
平成30年度	197名	565点	12回

フォトコンテスト応募状況等

【棚田基金】

しまねの棚田ネットワーク

島根県には「日本の棚田百選」に選定された7つの棚田をはじめ多数の棚田が存在し、それぞれの地域において、棚田の保全活動や都市住民等との交流活動などが行われています。

この保全活動・交流活動をより効率的に行う上で、地域間相互の情報交換や意見交換を行い、あるいは活動手法を検討するため、関係団体・機関等により構成する「しまねの棚田ネットワーク」を設置し、定期的に情報交換、現地視察、検討会等を開催することにより、棚田地域相互間のネットワーク化を図っています。

棚田ネットワーク参加団体

棚田地域等	関係市町	関係県機関等	備考
山王寺	雲南市	雲南県土整備事務所	
大原新田	奥出雲町		
神谷	邑南町	県中央土整備事務所	
上田・平佐			
佐津日	大田市	大田事業所	子ご美の里 ヨズクの里
西田			
都川			
赤尾	浜田市旭支所	浜田県土整備事務所	
坂本			
室谷	浜田市三隅支所		
中垣内	益田市	益田県土整備事務所	
大井谷	吉賀町		
		松江県土整備事務所	
		出雲県土整備事務所	
		隠岐支庁県土整備局	
		本庁農村整備課	
		水と土ネットワーク島根	
12地域	7市町	10機関	



情報交換会の様子

棚田PR活動

各種イベントへの参加やパンフレットを作成し、棚田地域での取組等を広くPRする。

【しまねふるさとフェア】



【しまね町村フェスティバル】



- ・棚田米すくい取り
- ・棚田米販売
- ・オーナー制度PR

【しまね棚田元気ネット】



ホームページによる活動情報等の発信

- ・活動パネル展示
- ・棚田保全に関するアンケートの実施

【しまね棚田めぐり旅】



棚田パンフレットを作成し情報を発信

【棚田基金】

地域活動支援

各棚田組織で実施するイベントやPR活動の支援を行っています。

【活用事例】



たんぼの学校活動支援
(雲南市 山王寺)



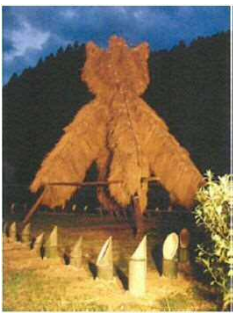
ワークショップの開催
(雲南市 山王寺)



棚田カードの作成
(県内)



オーナー募集チラシ
(邑南町 神谷)



ヨズクハデライトアップ
(大田市 ヨズクの里)



ヨズクの里フォーラム開催
(大田市 ヨズクの里)



イベント用法被の製作
(邑南町 羽須美)



イベント用幟の製作
(大田市 子ご美の里)

棚田交流施設等の整備

棚田組織が行う交流施設等の整備のための支援を行っています。

【活用事例】



棚田周辺マップの設置
(大田市 子ご美の里)



展望台東屋の補修
(吉賀町 大井谷)



棚田石垣の補修
石積み手順書の作成
(吉賀町 大井谷)



オーナー田湧水路整備
(雲南市 山王寺)



散策道の整備
(浜田市 室谷)



案内看板の設置
(浜田市 都川)



展望台階段、手摺の補修
(吉賀町 大井谷)



オーナー耕作道路の補修
(吉賀町 大井谷)